

## 2. 新名神高速道路を利用される企業の声

### 1) 企業活動の支援

・新名神高速道路の利用による輸送時間短縮や新名神高速道路・名神高速道路のルート選択により、輸送の定時性が確保でき、企業の生産活動に貢献しています。

生産拠点間の輸送経路の変化



・当社では、磐田と神戸で異なる惣菜を生産しており、拠点間で相互に集荷した後、全国の物流拠点に配送しています。

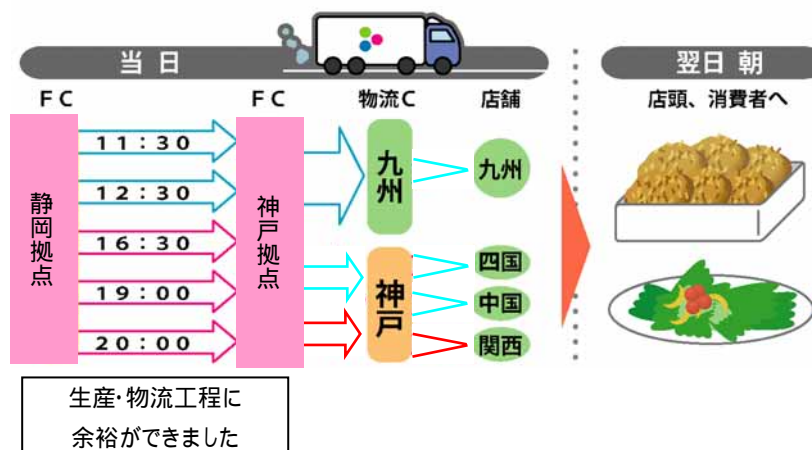
・翌日に店頭で並べることを基本としており、店舗数が拡大し、生産工程に余裕がほとんどありませんでしたが、新名神高速道路を利用することにより、約20分の輸送時間短縮となり、生産・物流時間に余裕が生じ、トータルの定時性を確保できるようになりました。

・特に生産拠点間では毎日10便が新名神高速道路を利用していますが、名神高速道路ルートを選択できることで、行楽や帰省シーズン等においても交通状況に適宜対応できるようになりました。

・名神高速道路ルートでは、年に2～3回ほど渋滞により九州地域への遅延があったが、新名神高速道路へのルート変更後は遅延がありません。

(A惣菜メーカー)

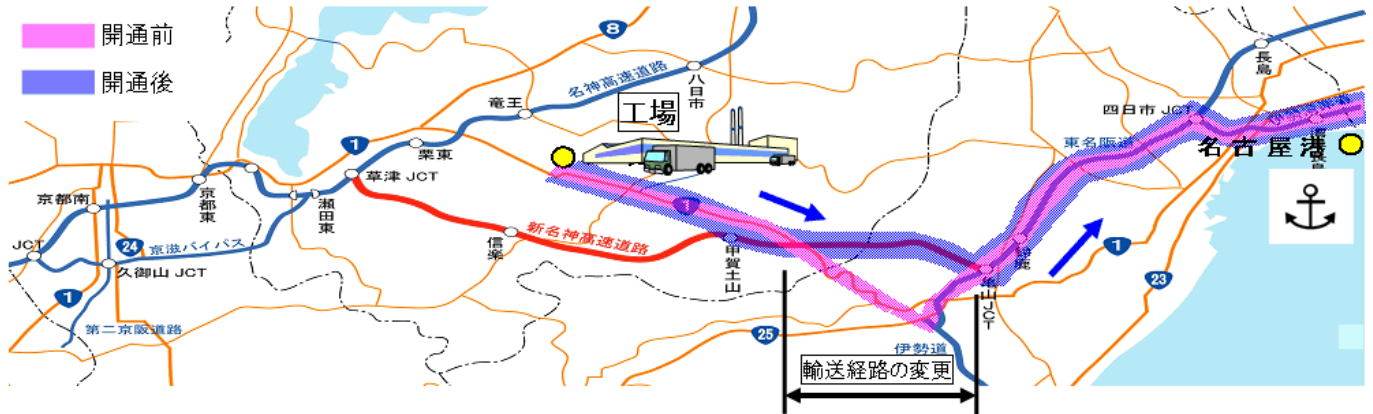
輸送タイムスケジュールの事例



## 2) 安定走行、代替路の確保

・新名神高速道路の利用による安定走行が、精密機器等の輸送に貢献しています。

### 精密機器の輸送経路の変化



(甲賀土山～亀山間)

**新名神開通前:** (国道1号) 利用

・信号による加減速、急勾配の坂

精密機器の輸送に悪影響

**新名神開通後:** (新名神) 利用

・新名神の利用

精密機器の安定走行を確保

- ・高品質化で製造品の価値は昔の3倍になっており、精密機器の輸送には、安定走行が欠かせませんが、新名神の利用で、精密機器への影響を回避した輸送が実現しました。
- ・また、交通事故や異常気象による通行止め時に輸送ルートを選択肢が増え、確実に輸送できるようになりました。  
(A精密機器メーカー)